

かんそう文を書こう

～心にのこった本の感想を書こう～

2年 国語
「感想文を書こう」
読書指導

ねらい

○読んだ本の感想を整理して書くことができる。

○感想の書き方を覚え、感想文にする。

学 習 展 開

- ① お話を読んで、感想文の書き方を知る。
「スイミー」を例にとって考えることを知る。
- ② 書く内容の構成を知る。
 - 1) プロットの紹介をする。
「ある日、マグロは小さなあかいさかなたちをいっぴきの
こらずのみこんだ。にげたのはスイミーだけだった。」
 - 2) そのプロットに対する感想を書く。
一人ぼちはとてもいやでさびしくて悲しい。
 - 3) なぜそう感じたか、体験を交えての根拠を書く
前に家に一人いたときとても悲しかったから
誰も居ない家の中は寂しくて悲しくなった。
誰も居ない寂しさは、何かで埋められない。
- ③ つぎのプロットについて、1) 2) 3) を繰り返して、感想を書く。



お話を読んでもらっています

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭は起承転結のはっきりしたお話など、感想を書きやすい本の選び方について助言をする。
- 学校司書は、書いた感想を積み重ねて、来年の参考となるよう、ストックしておく。前年度の作品を紹介する。

★指導のポイント

- ◆ 低学年では、感想文の書き方について、教科書のお話を使って、こうしたら感想文が書けるというパターンを知らせて文を書かせる。同じ事を繰り返すことで長い感想文が書けるようにする。

資料

「スイミー」、「スーホの白い馬」など教科書に紹介されているお話
「光村ライブラリー」全18巻（光村図書出版）より